

東洋英和女学院 中学部

所在地/〒106-8507 港区六本木5-14-40
TEL/03-3583-0696
部長/石澤 友康
創立/1884年、カナダ・メソジスト教会から派遣された女性宣教師によって設立。1947年、幼稚園、小学部、中学部、高等部と名称変更。
URL/www.toyoeiwa.ac.jp

	1年	2年	3年
男子	—	—	—
女子	200名	204名	193名
クラス数	5組	5組	5組
中高総生徒数/1150名 併設小から 約37%			



(交通アクセス)
都営大江戸線「麻布十番」駅より徒歩5分 東京メトロ南北線「麻布十番」駅、東京メトロ日比谷線「六本木」駅より徒歩7分、東京メトロ千代田線「乃木坂」駅より徒歩15分

特色ある6年間の一貫教育で、「敬神奉仕」の精神を育む

「敬神奉仕」を学院標語に、毎朝の礼拝や聖書の授業、学校行事、特別活動をはじめ、すべての学校生活を通して、キリスト教に基づく人格教育を実践しています。中1・2を「基礎学力の強化」、中3・高1を「習熟度別学習」、高2・3を「進路別学習」と位置づけた6年間で1つの教育スタンスととらえる中高一貫教育が、教育の特色。6年間の学校生活を通して、生徒がみずから考える力を身につける教育を行います。少人数制学習や指名制補習のほかチューターによる学習支援プログラムなど、自学自習をサポートする環境が整っています。

スクールライフ

●教育内容

英語教育では、中1・2は少人数制、中3からは習熟度別クラスできめ細かい指導をします。多読・多聴活動を通して英語に触れ、外国人教師による英会話の授業でコミュニケーションを円滑に行う能力を培っていきます。また理数教育として、理科では実験を多用し、数学では中2以上の少人数制、中3からの習熟度制を採用。生徒の理数教科への興味を引き出し、実力をつけさせています。高等部では多様な分野の内容を英語で学習。多岐にわたる教材を読むことで、高度な英語力を身につけるだけでなく、文化、民族、科学、国際社会への関心やCritical thinking (論理的・懐疑的思考力) を養っています。

■主要5教科の週当たり時間(コマ)数

	英語	数学	国語	理科	社会
1年	6	4	4	4	4
2年	5	4	5	4	4
3年	5	5	5	4	3
合計	16	13	14	12	11

◎1日当たりの授業コマ数：50分×6時限

※火曜日は7時限クラブ活動あり。木曜日は7時限LHRあり

◎登校時間：8時

マネーガイド

■2024年度納付金(諸経費を含む)

	入学金	授業料	施設費	その他	計
入学手續時	300,000円	0円	0円	0円	300,000円
初年度総額	300,000円	510,000円	250,000円	約561,000円	約1,621,000円

●部活動

全部で29のクラブがあり、生徒全員がそのいずれかに属しています。文化系では天文部や生物部、ステージ系では音楽部、ダンス部、合唱部などが活発。体育系ではバレーボール部、バスケットボール部、卓球部などが活躍しています。ボランティア活動に参加する生徒も大勢います。
○文化系/文芸、天文、園芸、写真、料理、英会話、美術、手芸、地歴、生物、化学、映像制作、フランス語、茶道など
○体育系/テニス、バレーボール、バスケットボール、剣道、スキー、卓球、ワンダーフォーゲル
○ステージ系/英語劇(EDC)、ダンス、ハンドベル、軽音楽、音楽、合唱、放送

●行事

楓祭(文化祭)、合唱コンクール、体育祭、クリスマス音楽会のほか、花の日礼拝やクリスマス礼拝があります。中1は車椅子で校内を回ったり、点字を学んだりするデリアコニア活動を行います。

●修学旅行・研修旅行

中1は清里の清泉寮でオリエンテーションを、中2は野尻湖で夏期学校を行います。高2の修学旅行は「日本の近世から現代の歴史と文化の学びの場」として考え、行き先を長崎に設定しています。また、高1ではカンファレンスを、高3では修養会も実施。中3と高校生の希望者は、夏休みにカナダ研修、春休みにオーストラリア研修に参加できます。

◎寄付金：20万円以上(任意)

◎授業料：2期分納

◎奨学金制度：経済的理由により就学困難と判断される者に授業料などを免除する制度あり



サピックスからの合格実績(過去3年) '22 59名 '23 57名 '24 41名

進学指導の概要

みずからが授けられた才能「タレント」を隣人のために、社会のためにどのように用いるかを念頭に、卒業後の生き方、仕事、将来の進路について考える機会を設けることで、生徒は将来の目標をより明確にします。指導側も生徒の志望と適性を最大限に尊重しながら、最もふさわしい道が開かれるようサポートします。

コース別のクラス編成はとらずに、高1から選択科目の履修が始まり、高2で週14時間、高3で週15時間の選択授業を設け、生徒が希望する進

路に合わせた授業時間割を自分で作成します。卒業生による進路ガイダンスや大学教授の講演、希望者への夏期講習・直前講習なども行っています。

■併設高校から主要大学への合格実績

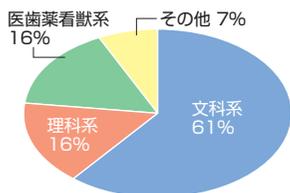
※上段は現役合格者数、下段は浪人を含めた合格者数。

	東京大	京大	一橋大	東工大	筑波大	お茶の水女子大	電気通信大	東京外国語大	東京学芸大	東京芸術大	東京農工大	東京都立大	横浜国立大	千葉大	早稲田大	慶應義塾大	上智大	東京理科大
22年	—	—	—	1	—	3	—	2	—	—	—	—	2	—	45	52	49	10
23年	1	1	—	1	—	3	—	2	—	1	—	1	1	2	48	56	57	12
24年	1	1	—	1	1	1	—	2	—	2	—	1	1	2	24	24	20	16
	2	—	—	—	1	2	—	1	—	2	—	1	1	2	28	27	26	17
	3	1	—	—	1	2	—	1	—	2	—	2	1	1	47	33	39	7
	3	1	—	—	1	2	—	1	—	1	—	2	1	2	53	37	46	10

	学習院大	明治大	青山学院大	立教大	中央大	法政大	日本大	東洋大	駒澤大	専修大	東洋和学院大	津田塾大	東京女子大	日本女子大	管文部科学省 海外の大学	海外の大学	国公立・医大	私立・医大
22年	11	39	33	56	16	19	13	9	3	1	13	12	35	23	1	2	1	24
23年	13	48	37	59	17	24	19	10	4	1	14	17	38	24	4	2	2	45
24年	9	27	28	35	17	13	19	8	3	3	14	9	26	27	—	5	1	14
	9	34	34	48	18	21	26	10	3	3	14	5	30	32	—	5	1	27
	7	39	39	50	12	27	9	9	4	3	35	5	24	17	—	14	1	25
	9	43	44	54	16	31	15	10	4	3	35	6	26	18	—	14	2	39

★指定校推薦枠(2024年度) 早稲田大5名、慶應義塾大7名、上智大1名、東京理科大3名、国際基督教大1名、学習院大8名、明治大1名、青山学院大7名、立教大4名、中央大5名、北里大6名など

■現役大学進学者の進路の内訳



入試情報

■過去3年間の入試結果

		募集人員	出願者	受験者	合格者	実質倍率
22年	A	約80	229	205	96	2.1
	B	約30	480	216	61	3.5
	帰国	若干	7	7	3	2.3
23年	A	約80	262	224	97	2.3
	B	約30	567	261	57	4.6
	帰国	若干	8	6	3	2.0
24年	A	約80	288	243	94	2.6
	B	約30	570	271	48	5.6
	帰国	若干	5	5	4	1.3

■2024年度入試 合格者の教科別平均点

	算数	国語	理科	社会	合計
A	67.2	78.2	41.6	42.1	229.1
B	66.0	82.2	46.3	47.5	242.0

○配点：算国=各100点 理社=各60点
○合格最低点：A210点 B229点

24年の募集要項

※以下は2024年の募集要項です。2025年の要項は学校の発表をお待ちください。

入試日/A2月1日 B2月3日 帰国2月1日
募集人員/女子(A約80名 B約30名 帰国若干名)
合格発表/いずれもホームページで即日発表
手続締切/A2月3日 B2月4日 帰国2月3日
試験科目/国語(45分・100点)、算数(45分・100点)、理科(30分・60点)、社会(30分・60点)
面接/あり(受験生)
帰国生入試/国語(45分・100点)、算数(45分・100点)
面接(保護者同伴、日本語で)
受験料/25,000円(A・Bもしくは帰国生・Bの両日程に出席する場合は40,000円)

公開行事・説明会予定

【学校説明会】要予約
9月7日(土)10時～、13時30分～、15時30分～
12月26日(木)10時～、13時30分～、15時30分～
【入試説明会】要予約
11月16日(土)9時～ 6年生対象
【オープンスクール】要予約
6月29日(土)8時40分～
【楓祭(文化祭)】要予約
10月25日(金)、26日(土)
【クリスマス音楽会】要予約
12月14日(土)13時～、15時～
◆変更・中止の可能性もあります。必ず学校ホームページで確認してください。

サピックスOGの声

- 大講堂のパイプオルガンが自慢です。毎朝の礼拝ではパイプオルガンの演奏に合わせて讃美歌を歌い、聖書を読み、先生のお話を聞きます。厳かな雰囲気なかで、心が落ち着く時間です。
- 英語の授業は密度が濃く、復習や予習が欠かせません。中1では週2コマ、中2では週1コマのネイティブの先生による英会話の授業があります。帰国生も多いので、刺激を受けながら早く追いつこうとがんばっています。